



令和2年1月24日
石原かがやきこども園
体調不良児保育
担当:鈴木・青木・真嶋

寒いからといってうちの窓を閉め切っていませんか？ 長い時間換気をしない室内はウイルスや二酸化炭素、ほこりで汚れてしまいます。寒くてもこまめに換気を行い、空気の入れ替えを心がけましょう。

インフルエンザ情報

昨年は12月からインフルエンザAが流行しました。今年に入って園ではインフルエンザは落ち着いていますが高崎市内ではインフルエンザの流行が続いています。

例年、インフルエンザAが落ち着いてくる2月頃からインフルエンザBが流行ります。まだまだ流行が続きますので手洗い、うがい、咳エチケットなどをして罹らないようにしましょう。インフルエンザに罹ると出席停止になります。かかりつけ医から登園許可が出たら、登園許可書が必要です。登園する時、必ず職員に手渡しでお願いいたします。

園児の送迎に来る方がインフルエンザに罹った場合は感染予防の為、園内に入ることをご遠慮していただいています。事前に連絡を頂き、園門まで職員が送迎します。ご協力お願いいたします。

花粉症対策をしましょう

花粉症の季節が近づいてきました。花粉症のある方はつらい季節ですね。

かかりつけ医に行き、早めの対策をとることで乗り切りましょう。

花粉症の症状といえば鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、くしゃみが主な症状です。中でも子どもの場合は、鼻づまりと目のかゆみに現れることが多いようです。鼻づまりは見た目ではわかりにくいので、口呼吸が多くなっていないか観察しましょう。また、目の症状として充血したり目がむくんだりすることもあります。花粉症の症状はかぜの症状にも似ているので、気になる症状が現れたら早めに受診しましょう。

花粉症対策で花粉症用メガネをつける園児もいます。また、園で目薬の点眼を希望される方は投薬依頼書が必要です。使用を希望する方は担任までお知らせください。

3つの首を温めよう

「かぜは首から引く」という言葉があるように、首、手首、足首が冷えると、体全体も冷え、かぜを引きやすくなります。首にはタートルネックのセーターやマフラー、手首には手袋、足首には厚手の靴下やレッグウォーマーを着用してしっかり保温し、血流をよくしましょう。一方で、かぜを引いて熱が上がりきった時は、この3ヶ所を冷やすと効果があります。

やけどをした時の応急ケア



やけどをした時は、できるだけ早く冷やすことが大切です。冷やす時は流水が最も適しています。やけどをした部分が赤いだけなら、しばらく冷やして様子を見ましょう。



水ぼうが破れて痛いときは、食品用ラップで傷を覆い、その上から冷やすとよいでしょう。水ぼうができた時、水ぼうが破れて傷になった時は、痛みがある程度落ち着くまで冷やして受診しましょう。